

## 平成27年度 協議会総会開催

2015.7.15



池田名誉教授の特別講演にて



池田名誉教授



富田会長



県商工労働部  
斎田部長



峯村  
コーディネータ



県工業技術センター  
小島副センター長



荒井副会長



事務局・伊藤

との演題のもと、茨城県の地理的優位性及びその科学技術的集積性と言った身近な視点から説き起こし、中性子と放射光と言う量子ビームの複合利用可能な地域の持つ強みを最大

7月15日(水)13時30分から、いばらき量子ビーム研究センター(IQBRC)内の大会議室にて、平成27年度県内中性子利用連絡協議会総会が開催されました。

総会の冒頭、富田会長(日本アドバンステクノロジー(株)代表取締役社長)から、これまでの協議会へのご支援謝辞と今後の取り組みに対するご協力要請の挨拶がありました。続いて、茨城県商工労働部・斎田部長から協議会に寄せる期待の挨拶を戴きました。

発表では、まず協議会事務局伊藤から 過去1年間の活動を総括ご報告し、併せて本年度新たに開始する中性子活用事例創出事業を重点とした活動目標と日程計画等をご説明しご協力をお願いしました。

続いて2件の事例を発表戴きました。まず最初に茨城県ビームライン産業利用コーディネータ・峯村哲郎氏から「中性子産業利用の現状と茨城県の取り組み」と題して、県保有の2本のビームラインの利活用状況や、そこで得られた実績や知見の解説をして戴き、参加者への関心を喚起戴きました。

また、日頃中性子利活用の県内中小企業への展開と支援にも腐心している県工業技術センター副センター長・小島均氏から「茨城県工業技術センターの中性子利用支援活動について」と題し、県域企業の中性子ビーム利用者へ寄り添った着実なその支援活動事例が紹介されました。成果が確認された事例の他、更なる解明を待つテーマも垣間見られ、今後の展開が期待されます。

休憩の後、今回は高エネルギー加速器研究機構(KEK)名誉教授・池田進氏をお迎えし特別講演をお願いしました。氏は「量子ビーム集積拠点の世界最高峰～茨城県」

限に活用することが、県内企業活性化のひとつの大きな手段となり得るのではないかと課題提起をされました。併せて、こうした環境下でのKEKの日頃のたゆみない研究活動と利用可能な施設群の紹介を戴き、こよなく茨城を愛する氏の熱い思いが参加者の関心を集めました。

最後に 荒井副会長(株)テクノエーピー代表取締役)から本日の特別講演他への謝辞と共に、本日発表があった諸件の知見や技術情報を日常業務の中に活用していきたい旨の閉会挨拶がありました。

尚本総会には、企業関係者、研究者、事務局を含めて約50名が集い熱気に満ちた中でキックオフを行い、本年度における活動を共に誓う機会となりました。

### イベントのお知らせ(予告)

- JAEA/原子力科学研究所(東海村)・展示会  
◆日時：10/1(木) (詳細は後報致します)
- AIST/産業技術総合研究所(つくば市)・展示会  
◆日時：10/29(木) (詳細は後報致します)
- JAEA・高崎研究所(高崎市)・見学会  
◆日時：11/5(木)  
(チャーターしたバスで移動予定。詳細は後報致します)

### ◆平成27年度・事務局の体制について◆

本協議会事務局は、(株)ひたちなかテクノセンター企業支援部次長/浅野俊之、コーディネータ/伊藤裕・満仲俊夫と、新たに4/1付で同/岡本周幸が加わり担当します。

尚、県商工労働部産業政策課係長/浅野健治は引き続き従事し、4/1付にて同主事/秋谷朋広は異動しました。



岡本周幸(新任)

\*\*\*\*\* J-PARC NEWS 発行 \*\*\*\*\*

J-PARC NEWS 第122号が発行されました。

<http://j-parc.jp/ja/news/news-j.html>